

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

事業名	KIX 泉州ツーリズムビューロー事業
所管課	文化観光局 観光部 観光企画課

活用制度	地方創生推進交付金		
事業費	令和3年度 42,720,000円 (連携自治体合計)	交付額	令和3年度 13,973,000円 (堺市分)

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○泉州地域の地域資源や特性を生かした関空イン・関空アウトのインバウンドによる観光振興、泉州地域の活性化、国内外における泉州ブランドの確立をめざす。</p> <p>※当事業における連携自治体 岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町</p> <p>【具体的な取組内容】</p> <p>○JAL との連携事業として、泉州の魅力を発信するための泉州オンライントリップを令和4年3月に実施</p> <p>○HP や SNS の多言語化・新規開設を実施し、国内外に泉州地域の情報を発信</p> <p>○観光地域づくりについての知識取得と意欲向上を目的に、地域の民間事業者等を対象としたワークショップ等を開催（ワークショップ3回、セミナー1回）</p> <p>○外部専門人材を登用し、外国人旅行者の誘客・周遊促進を目的に、フィールドワークを含むガイド養成講座を令和4年1月に実施</p> <p>○泉州地域での滞在時間を増やすことによる観光消費額の拡大を目的に、ガイドツアーを3本造成</p>

KPI（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
泉州地域の訪日旅行者数	159万人	480万人	※1
泉州地域の来訪者満足度（訪日旅行者）	5.2ポイント	6.5ポイント	6.2ポイント

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

泉州地域の延べ宿泊者数（訪日旅行者）	68万人	55万人	※2
泉州地域の旅行消費額（訪日旅行者）	510億円	1,565億円	※1
KPIの実績を踏まえた今後の方向性	○2020年度からのコロナ禍の影響が大きいことから、アフターコロナを見据えた受入環境整備事業及び情報発信事業に重点を置き、多言語でのSNS等Webやメディアでの発信、着地型体験旅行商品の造成・販売、民間事業者を含む地域の多様な関係者との協議、住民を巻き込んだ観光地域づくりに向けた啓発などを展開していく。		

※1 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による入国規制により、訪日旅行者が限りなく0に近い調査を見送った。

※2 現時点で実績を把握していないため、把握でき次第更新を予定

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

事業名	SDGs 達成に向けた様々な主体の連携と自律的取組の促進プロジェクト
所管課	市長公室 政策企画部 計画推進担当

活用制度	地方創生推進交付金		
事業費	令和3年度 780,803 円	交付額	令和3年度 390,401 円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○地方創生の実現に向けて、市内の SDGs 認知度の向上や主体間連携および自律的取組の促進等を図る。</p> <p>【具体的な取組内容】</p> <p>○「さかい SDGs 推進プラットフォーム」を構築し、「高校生・大学生」と「中小企業」に対して以下取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかい SDGs 推進プラットフォーム会員交流会を実施 ・SDGs 達成に向けたプロジェクトチームの推進（3 チーム） ・さかい SDGs 推進プラットフォーム会員と教育機関を連携し、SDGs に関する課題解決型学習（3 件）、出前授業（14 件）、フィールドワーク（2 件）等を実施 ・服の物々交換会、規格外商品を使ったキッチンカーなど、さかい SDGs 推進プラットフォーム会員と連携し、商業施設等で SDGs を知り、実践できるイベント（4 件）を実施
------	--

KPI（重要業績評価指標）の実績

指標名	当初の値	目標値	実績値
プラットフォームの会員数		200 者	399 者
プラットフォームが組成したプロジェクトチーム		5 チーム	3 チーム
KPIの実績を踏まえた今後の方向性	<p>○プラットフォームに参画する中小企業はSDGsに対して積極的な姿勢であるが、単独企業だけでは自分たちのやりたいことが実現できないことも多いことから、まずは、市（事務局）が主体的に、ニーズを集約し、SDGsをイノベーションの機会ととらえ、ビジネスマッチングに向けたコーディネートに注力し、会員同士のSDGsの取組を継続的に増やしていく。なお、プロジェクトチームという形式にこだわらず、会員同士の事業を組成し、SDGsの取組を推進していく。</p>		

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

事業名	産学公民共創コンソーシアムによる新産業創出にむけたスマートシティの推進
所管課	市長公室 政策企画部 先進事業担当

活用制度	地方創生推進交付金		
事業費	令和3年度 13,448,000円 (連携自治体合計)	交付額	令和3年度 6,594,500円 (堺市分)

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○泉北ニュータウンは 1965 年に開発された関西最大級のニュータウンであり、大阪中心部や関西国際空港への交通利便性や豊富な緑空間を魅力に多くの住宅や公営による住宅が整備されているが、近年は、高齢化や人口減少をはじめとするオールドタウン化が進行している。</p> <p>○こうした中、堺市では 2021 年に、泉北ニュータウン地域の新たな指針として「SENBOKU NEW DESIGN」を策定し、持続発展するまちを実現する新たな視点として、「スマートシティの推進」や「職住近接型のライフスタイル」等を掲げている。</p> <p>○泉北ニュータウン地域にて、民間事業者・大学の取組と地域課題の解決に資する複数の事業を実施し、新たな産業が創出される基盤を整備し、いわゆるベッドタウンであり優良な労働力の供給源であった当該地域を「仕事が創られるまち、仕事があるまち」に転換することで、昼間人口を中心に、当該地域で活動する人口の涵養をめざす。</p> <p>※当事業における連携自治体 大阪府</p> <p>【具体的な取組内容】</p> <p>○泉北ニュータウン地域での企業誘致や、地域住民の働く場創出のため、エリア内での新たなシェアオフィス、コワーキングスペースの整備を支援（3件）</p> <p>○ヘルスケア（健康増進、見守り）、デジタル・デバイドのような行政の課題を市が提示し、解決できるソリューションを持つ民間事業者を公募し、市と負担金協定を締結し単なる実証事業に終わらない複数年にわたる実装事業を展開（公募型案件の実施含め 14 件）</p>
-------------	---

K P I（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
本事業に関連する関連事業の企業拠点（事務所、研究所、サテライトオフィス等）進出数		2件/年	3件/年
新規雇用者数（店舗や事業所等）		10人/年	10件/年
実証プロジェクトの数		10件/年	14件/年
K P Iの実績を踏まえた今後の方向性	<p>○拠点整備の支援、プロジェクトの創出支援などにより、泉北ニュータウン地域での産業創出にむけた基盤の整備と機運醸成を行うことができた。</p> <p>○今後は、自治体と民間事業者によるプロジェクトだけでなく、民間事業者同士、民間事業者と大学など、複数の関係者間による事業創出を加速するために、コンソーシアムの整備に取り組む。</p>		

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

事業名	中百舌鳥エリアにおけるイノベーション創出拠点形成によるまちづくり
所管課	建築都市局 都市整備部 中百舌鳥・拠点整備担当

活用制度	地方創生推進交付金		
事業費	令和3年度 9,309,970円	交付額	令和3年度 4,654,985円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○中百舌鳥エリアは、大阪メトロ・南海電気鉄道・泉北高速鉄道の交通結節点であり、新大阪・大阪・難波などの大阪都心部へのアクセス性、大学、産業支援機関の集積により、南大阪を代表するビジネスに適したロケーションである。</p> <p>○産業、研究機関、人が集い、最先端テクノロジーとビジネスを創造する次世代クラスターの形成、新たなイノベーションに出会い、つながりを楽しめるエリアをコンセプトとしており、当地域がイノベーション創出のリーディングエリアとして発展し、中百舌鳥エリア全体の活性化をめざすため、産学官が相互に知恵を出し合い協力・連携できるプラットフォームとして設立した「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」を運営する。</p>
	<p>【具体的な取組内容】</p> <p>○行政と大学、地域のステークホルダーが相互に知恵を出し合い協力するとともに、それぞれが役割を果たすことで、地域全体の発展を実現することを目的とした「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」を令和3年2月に設立</p> <p>○中百舌鳥エリアにおけるイノベーション創出拠点の形成に向け、コンソーシアムの会員である民間事業者、大学、行政などの各ステークホルダーが考えを出し合い、課題や目標（将来像）を共有し、それぞれが実施・連携する取組や短期・中期のスケジュールを明確にするため、ロードマップ等を作成</p> <p>○将来の中百舌鳥駅前広場の活用イメージの構築や、コンソーシアム等の認知度向上を目的に、令和4年3月に中百舌鳥駅前北側広場において社会実験を実施</p>

KPI（重要業績評価指標）の実績

指標名	当初の値	目標値	実績値
新設されたオフィス等の床面積		0m ² /年	100m ² /年

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

(株)さかい新事業創造センターにおけるハンズオン型のスタートアップ・ベンチャー支援の総数	90 件/年	110 件/年	120 件/年
KPIの実績を踏まえた今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○設定したKPIについて、両指標とも目標値を達成できた。 ○ロードマップに基づき、中百舌鳥エリア内に存する低・未利用地を対象に、拠点形成に向けた土地利用の検討を行う。 ○堺市におけるイノベーションの事例や中百舌鳥エリアにおけるイノベーション創出に向けた取組、コンソーシアムの取組等の情報発信により、「中百舌鳥」の知名度向上やコンソーシアム会員等の取組意欲の向上、更なる機運醸成を図る。 		

令和3年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

事業名	第2期堺市まち・ひと・しごと創生推進事業
所管課	財政局 財政部 資金課

活用制度	地方創生応援税制		
事業費	令和3年度 479,756,503円	寄付額	令和3年度 2,300,000円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○今後、人口減少に伴い、労働力人口の減少が見込まれ、人手不足の深刻化による新規事業への展開や成長への制約、事業規模の維持や技能伝承が困難になりかねない状況が予測され厳しい都市経営が予想される。</p> <p>○そのような中、歴史資源や文化の魅力創出による交流人口の創出、エリアのポテンシャルを活かしたまちの活性化、子育て支援や厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実、心身ともに健康で輝きながら暮らし続けることができる健康・福祉の充実、イノベーションの創出や民間投資の誘導などにより、将来にわたり持続的に発展する都市経営を図る。</p>
	<p>【地方創生応援税制を活用した具体的な取組内容】</p> <p>○堺の特色ある歴史文化と強くしなやかな都市基盤を推進する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄炮鍛冶屋敷整備事業 2,000,000円 ・フェニーチェ堺における文化芸術活動推進事業 100,000円 ・新大浜体育館運営事業 100,000円 <p>○将来に希望が持てる子育て・教育と人生100年時代の健康・福祉を推進する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報システム事業 100,000円

KPI（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
来訪者数（大仙公園 エリア+環濠エリア）	212万人	330万人 （令和6年度）	195.1万人
年少人口 （0～14歳）	105,127人	97,825人 （令和6年度）	101,208人

令和 3 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告シート

健康寿命	男性：71.46 年 女性：73.60 年	男性：73.19 年 女性：76.19 年 (令和 6 年度)	男性：72.82 年 女性：74.46 年
事業従事者 1 人当たり付加価値額※	508万円	526 万円 (令和 6 年度)	508 万円※

※経済センサス活動調査の数値。現時点において、当初の値 508 万円（平成 28 年）から更新されていないため、当初の値と同額となっている。